

3. 看護助産人材開発管理

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

東南アジア地域では、ASEAN 経済連携による域内相互認証や日本との経済連携協定の影響も受け、看護人材の質の担保が重要な政策課題となっており、日本からの効果的な制度支援が要望されている。

NCGM は東南アジア地域における技術協力プロジェクトに加えて、2011-2013 年に看護助産人材開発管理に関するワークショップを開催し、看護助産人材の質を担保するための実践的討議とネットワーク構築を促進した。

【活動内容】

東南アジア地域／ASEAN 加盟国において看護人材の質の担保への取り組みの進捗が懸念されているカンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム（CLMV）の4か国を対象に各国から看護教育に係る行政官・教員等、計14名を招聘し、看護教育の質の担保の仕組みや教育内容に関する1週間程度の本邦研修とフォローアップ訪問を行う。

【期待される成果や波及効果等】

研修参加者は看護教育の課題解決への知見を得て、自国の看護教育の向上を目指した計画が立案される。

<研修実施結果>

《専門家派遣》

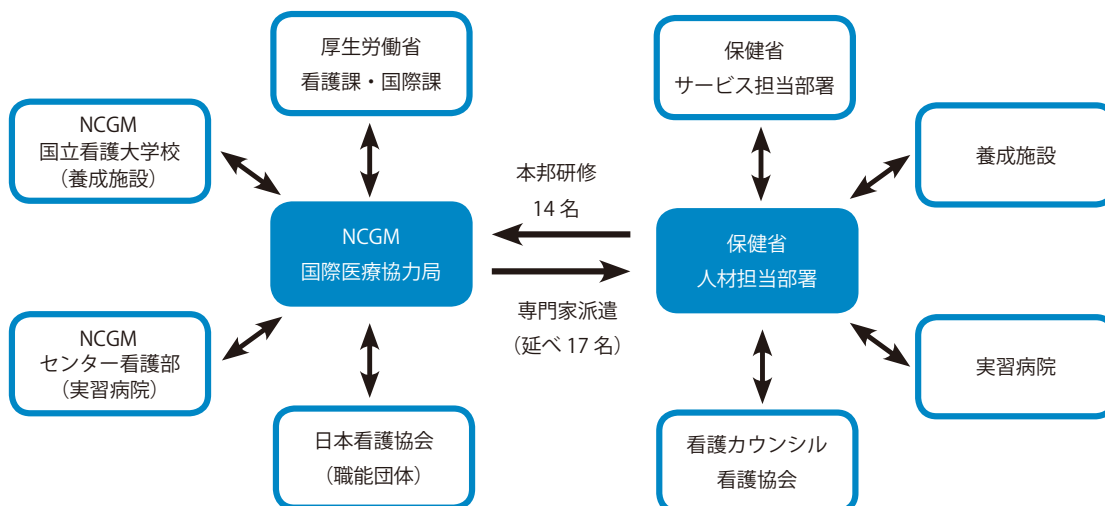
- ① 事前調整（2015年8月～9月）
- ② 研修参加（計14名）
- ③ 研修フォローアップ訪問

2015年12月15日～12月21日

《本邦研修 研修内容》

- ・日本の看護教育制度、法規と看護教育
- ・保健師助産師看護師学校養成所指定規則の運用の実際
- ・看護学高等教育機関における教育の質の確保・向上

- ・各国のカリキュラム共有
- ・実習病院の役割と取り組み、
- ・職能団体の役割
- ・ワークショップ
(各国の看護教育制度と課題、アクションプラン)



実施した研修概要(1)

【研修目標】

日本や研修参加国における看護教育の質の確保・向上を目指した仕組み・活動・経験を共有し、自国の課題解決にむけた知見を得る。

【事前課題】

自国の看護教育制度と課題をまとめる(パワーポイント)

【研修内容と構成】

1. 初日ワークショップ:事前課題(各国の看護教育制度と課題)の共有
2. 講義と視察
 - ・ 日本の看護教育制度、法規と看護教育
 - ・ 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の運用の実際
 - ・ 看護学高等教育機関における教育の質の確保・向上、各国のカリキュラム共有
 - ・ 実習病院の役割と取り組み、職能団体の役割
 - ・ 研修レビュー、討論
3. 最終日ワークショップ:学びと各国のアクションプランの共有と討論
4. 評価会:研修参加者からのフィードバック

実施した研修概要(2)

【言語】

- ・ 参加国毎に母国語-日本語の通訳/研修監理員を研修全行程に配置した。
- ・ 講義資料は英語と参加国4言語で準備(投影は英語・手元の資料は母国語)した。
- ・ 研修終了後には、各研修参加者に電子媒体で英語と母国語講義資料を配布(講師の許諾の範囲)した。



初日のワークショップ



厚生労働省看護課表敬

国立看護大学校での講義



討論の様子



研修評価会



修了式

研修成果

研修目標「日本や研修参加国の看護教育の質の確保・向上を目指した仕組み・活動・経験を共有し、自国の課題解決にむけた知見を得る」は達成された。

- 研修評価票の回答：十分達成できた(8名)、達成できた(6名)。
- 各国の看護基礎教育の質の向上を目指したアクションプランが立案され、共有された。
 - ・ カンボジア：関連法規のレビュー、看護教員の質の向上
 - ・ ラオス：看護学士・准学士教育課程の強化(教員、実習指導者の強化)、2016-2020年
 - ・ ミャンマー：研修の学びの共有(2016年6月まで)、看護教育課程の再検討(2017年まで)等
 - ・ ベトナム：看護教育の質の担保のための規則改定や制定(2019年まで)、国家試験制度設立(2020年まで)等
- フォローアップ訪問
 - ・ 研修参加者の状況に応じた(保健省行政・大学/短大管理者・教員etc)アクションプランの進捗が確認された。
 - ・ アクションプランは既存の看護人材に関する政策・計画・活動を促進していた。
 - ・ MOU(カンボジアとラオスの養成校)に関する協議が進行していた。

今後にむけて

カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム(CLMV)における看護師人材の育成強化支援継続の意義は高い



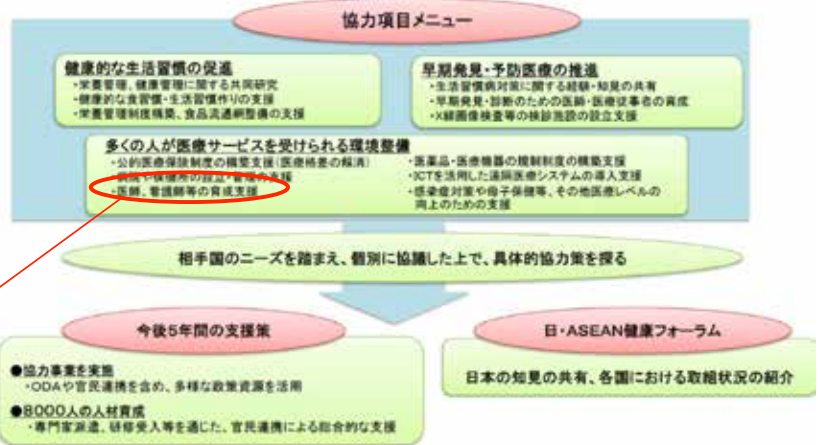
厚生労働省の政策と合致

- ・ 医療・保健医療分野の協力覚書(看護師等の人材開発)
- ・ 日・ASEAN健康イニシアチブ

日・ASEAN健康イニシアチブ

資料2

- 我が国の経験・知見を動員して、「健康寿命先進地域実現」に向けたASEANの努力を支援。
- 保健・医療分野において5年間で8,000人の人材育成。
- 『日・ASEAN健康フォーラム』を開催し、日・ASEANの対話を推進。



看護師や行政官等への指導を通じた人材育成プログラムの構築支援

今後に向けた課題

課題

1. 立案されたアクションプランの長期的支援
2. ASEAN加盟国看護への取り組みの共有と当事業の位置づけ

